

## 職員による自己評価

## A環境面

・コロナウイルス防止策を踏まえた新しい生活習慣が身について、人数や活動に応じて室内外の使い分けがスムーズに実施できた。

## B児童への支援内容

・利用する児童と担当する職員の相性を重視し、各発達段階に適した活動に取り組む事ができた。  
・小集団での活動は引き続き、できるだけ屋外で実施した。

## C関係機関との連携

・保護者を介して、学校や関連機関との連携を積極的に図ることができた。

## D保護者への説明責任・信頼関係

・すべての保護者に向けて、適切で丁寧な対応を常に心掛けた。

## E非常対応

・コロナや大雪など、緊急時に迅速に適切な対応を行うことができた。

## 保護者による評価

## A環境面

・相性の良い他の児童と一緒に活動ができるよう配慮していただき、大変助かりました。

## B児童への支援内容

・子供のその日の気分や体調によっては、行き渋る事もあるが、帰ってくると「楽しかった！」と言っている。  
・日頃家庭では教えられないような生活習慣も、こちらで自然に身につけていくことができ、とてもありがたく思っています。

## C事業所からの情報発信

・連絡帳を通じて、子どもたちの日々の活動が丁寧に報告され、安心しています。・ただ、時折スタッフ間の情報共有が滞ることがあり、気になることもあります。

## D非常対応

・学校や保育園での感染症の流行時には、利用基準等について疑問がある場合でも、都度お尋ねすることで明確な回答を得られました。

## 事業所内での分析

## 【共通点】

**情報の伝達と透明性** - 両評価において、日々の活動や特別な対応について情報を共有し、透明性を保つ努力が認められる。

**子供の発達とニーズへの対応** - 職員評価と保護者評価の両方で、子供の発達段階やその日の状態に応じたサポートが提供されている点が挙げられている。

## 【相違点】

**情報共有の具体性** - 職員は情報の共有がうまく行われていると感じていますが、保護者からは情報伝達の遅れに関する指摘が見られ、実際の情報共有には改善の余地があることが指摘されています。

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- 日々の活動について細かく連絡帳に記載することで、保護者に安心感を提供しています。
- 一人ひとりの発達段階や日々の状態に応じて、適切な支援を提供することで、個々のニーズに合わせた療育を実施しています。
- 感染症の流行など緊急事態において、迅速かつ適切に対応することで、保護者や子どもたちの安全を確保しています。

### 事業所の改善点

- 時折情報共有にタイムラグがあったとの指摘があるため、スタッフ間のより迅速な情報伝達が必要。
- スタッフ間での情報共有に一貫性が欠ける場合があるため、全スタッフが同じ情報を共有し、一貫した対応を取れるよう努力する。
- 職員と保護者との間でのコミュニケーションをさらに密にすることで、より多くの信頼と満足を保護者に提供できるよう改善する。

### 事業所の改善への取り組み

#### ・情報共有の方法に関する改善

私たちスタッフがもっと早く、正確に情報を共有できるよう、情報の伝達方法について、検討・改善する。毎日のミーティングを行い、大切な情報を確実にお互いに伝え合います。

#### ・情報の正確さと一貫性の向上

スタッフ全員が同じ情報を持てるように、簡単なルールやチェックリストを作る等の工夫をして、それに沿って情報を伝えるようにする等、改善を図る。

情報が正しく伝わっているかを定期的にチェックする方法を確立する。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者の皆様からの貴重なご意見を伺い、事業所としての強みと改善点が明らかになりました。これを機に、スタッフ一丸となってより良い療育に取り組めるよう、試行錯誤しながら改善に取り組みたいと思います。今後も、子ども達一人ひとりの個性とニーズに合わせたきめ細やかな対応を心がけ、保護者の皆様にとっても信頼できる子育てのパートナーであり続けたいと思います。

事業所名 ルルちいさいおうち

担当者 渡部 淳子